

配管解析と配管サポートの基本設計

配管支持装置は、ハンガ或いはサポートの種類、形状によってさまざまな機能を発揮し、配管を適切に且つ安全に支持する事が求められます。

今回、配管解析の概要とサポート設計の基本的な考え方を中心に講習会を企画しました。配管支持装置の関連業務に携わっている多数の技術者ならびに関係者のご参加をお待ちしています。また、社内教育の一環としても本講習会をご活用戴くようお願い申し上げます。

開催日時・場所

開催日時 平成 30 年 11 月 26 日 (月) 9 時 00 分～16 時 40 分

開催場所 機械振興会館 6-67 室

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 TEL 03-3434-8211

【地下鉄】東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車徒歩約 7 分

都営大江戸線「赤羽橋」駅下車徒歩約 8 分、都営三田線「御成門」駅下車徒歩約 10 分

都営浅草線「大門」駅下車徒歩約 15 分

【JR】「浜松町」駅下車徒歩約 18 分

【バス】「浜松町～東京タワー路線」「渋谷～東京タワー路線」

東京タワー前下車すぐ

定員・参加費

定員 30 名

参加費 協会会員：30,000 円、非会員：40,000 円

(税込み、テキスト代含む)

* 同業の方の参加は御遠慮頂く場合もあります。

主催・協賛

主催：(一社) 配管技術研究協会

協賛予定 (順不同)：

(一社) 日本機械学会、(一社) 火力原子力発電技術協会、(一社) ターボ機械協会、

高圧ガス保安協会、(一社) 日本鉄鋼協会、(一社) 石油学会、(一社) 日本バルブ工業会

(一社) 日本船舶海洋工学会、(一社) 化学工学会、石油化学工業会、(一社) 腐食防食協会、

申し込み方法

裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX 又は E-Mail にてお申し込み下さい。

FAX : 03-3944-6826

E-Mail : hs@nikko-pb.co.jp

折り返し、参加証と会場地図、参加費のご請求書を郵送させていただきます。

お問合せ

(一社) 配管技術研究協会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-3-26 TEL:03-3944-4575

講師その他止むを得ない事情により一部変更が生じる場合がありますのでご了承願います。

(今回の講習会にあわせて法人会員となられた方も会員会費となります。)

配管解析と配管サポートの基本設計

時間・テーマ	講師
9:00～11:00 配管系応力解析	
<ul style="list-style-type: none"> * 強度理論、1次応力と2次応力、作用荷重 * 解析の基準・コード、解析条件とモデル * 耐震解析（静的地震解析、動的地震解析） * 評価手法の解説、特殊解析例 	東芝エネルギーシステムズ株式会社 技術顧問 湯原 耕造
休憩 11:00～11:10	
11:10～12:10 火力、原子力配管の解析事例	
<ul style="list-style-type: none"> * 火力、原子力配管の解析時におけるサポート配置、サポート種別選択における注意点について * 特殊条件のモデル化手法説明 * 配管解析結果を用いたハンガ選定法について 	三和テッキ㈱ 技術第2部 技術第1課 関口 文武
昼食・休憩 12:10～13:00	
13:00～14:30 配管サポートの基本と架構サポートの評価手法	
<ul style="list-style-type: none"> * 配管サポートの構造、特徴、使用例 * 架構サポートの構造解析と定着部の評価の留意点 	三和テッキ㈱ 技術第2部 技術第2課 鈴木 均
休憩 14:30～14:40	
14:40～16:40 解析関連ソフトウェア紹介	
<ul style="list-style-type: none"> * 配管応力解析システム AutoPIPE （容器ノズルの応力評価を含む） * 構造解析システム STAAD.Pro 	伊藤忠テクノソリューションズ㈱ 本橋賀津彦 佐野秀昭

平成30年度第4回講習会 参加申込書

FAX : 03-3944-6826

請求書 発送先	会社名 郵便番号 住所 所属 担当者名 電話 E-mail
参加者	参加氏名① 所属（部署名） 参加氏名② 所属（部署名） 参加氏名③ 所属（部署名）
会員・非会員・特別会員（いずれかに○をつけてください。）	
見学会+講習会 講習会のみ （いずれかに○をつけてください。）	

上記 名の参加を申し込みます。

